

# 地域で育てる福賀っ子

～地域の諸団体との連携を通して～

【阿武町 福賀中学校区】

## 地域の概要

阿武町は、奈古、福賀、宇田郷の三つの地域から構成されています。福賀地域は農業地帯であり、子ども会育成連絡協議会や地域ぐるみ生徒指導推進協議会など地域で子どもを育てようとする意識が高いところです。

保護者や地域住民の教育への意識や期待は高く、地域振興、相互扶助、ボランティア、生涯学習の深化を目的とした様々な団体が設立され、相互に密接に連携し合っており活動しています。

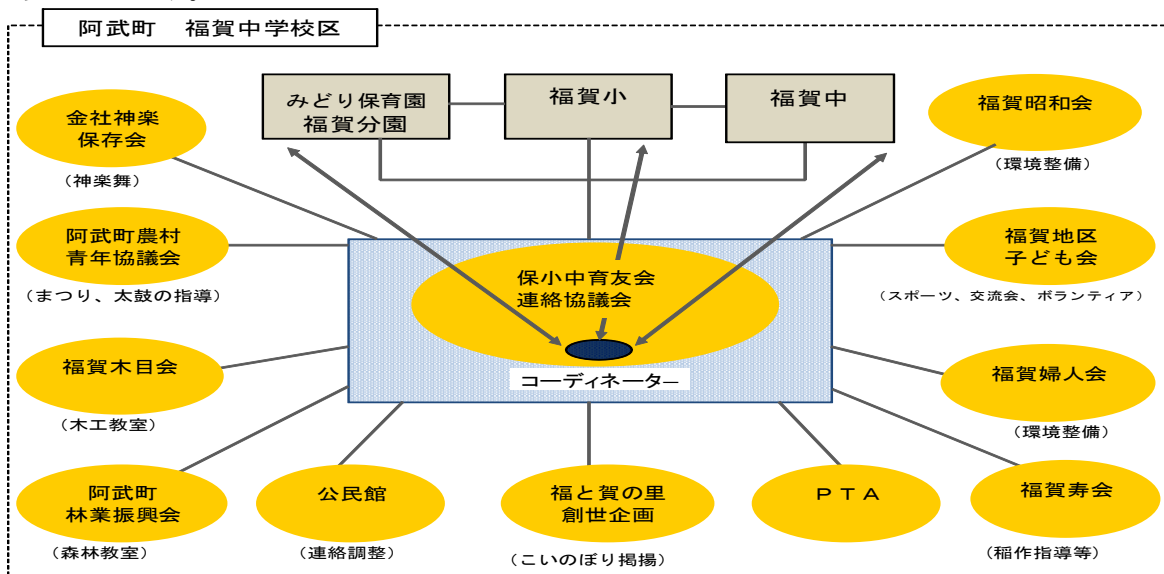
人口	731人	
世帯数	317世帯	
対象校及び 児童・生徒数	福賀中学校	14人
	福賀小学校	14人

## 組織の内容

福賀中学校区の地域協育ネットの中核を担うのは、「保小中育友会連絡協議会」です。この連絡協議会は、みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校のPTAの役員、福賀地区子ども会育成連絡協議会会長、公民館長によって構成されています。この協議会では地域の子どもたちに関する課題などを保小中で連携して取り組み、解決しており、コーディネーターは公民館長が兼ねています。

コーディネーターが交渉に当たるボランティア団体、関係機関は、下の図に示しただけでも、福賀昭和会、福賀ことぶき会（老人クラブ）、福賀婦人会、阿武町農村青年協議会、福賀地区子ども会育成連絡協議会、福と賀の里創世企画、阿武町林業振興会、福賀木目会、金社神楽保存会、公民館等があります。しかし、これ以外にも萩交通安全協会福賀分会、福賀ほほえみ会（ボランティア団体）、農事組合法人うもれ木の郷、福の里、あぶの郷など協力していただける団体は多岐にわたります。これらの団体とは、常日頃から密接に連絡を取り合っていますので、地域協育ネットの会合はあえて設けず、必要に応じてコーディネーターを通して依頼します。

みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校では、これら諸団体と日頃から連絡を密にし、総合的な学習の時間の講師、登下校の見守り活動、環境整備作業の支援、放課後における個別の学習指導などの支援を受けています。



## 主な活動の紹介

### ○阿武町農村青年協議会と連携した創作太鼓、福賀ふるさと夢太鼓の取組（福賀小学校）

小学校では、1982年から阿武町農村青年協議会が始めた創作太鼓を引き継ぎ、福賀ふるさと夢太鼓として取り組んでいます。総合的な学習の時間やクラブ活動などの時間を利用して、農村青年協議会の方に太鼓のたたき方や振り付けなどについて指導を受けます。練習の成果は学校祭や農業祭り、町民音楽祭などで披露しますが、福賀地域の新たな文化になって欲しいと関係者は大きな期待を寄せています。

### ○地域が一体となって運営する福賀地区秋季大運動会（福賀公民館、みどり保育園、福賀小・中学校）

9月の第二日曜日には、福賀地区の運動会が開催されます。この日のために、関係機関やボランティア諸団体は夏休みから環境整備活動を行い、当日は、幼児、児童、生徒、地域住民が一体となって競技に取り組めます。農繁期の手を止めて参加する地域が大切にしている一日です。

### ○金社神楽保存会と連携した伝統芸能継承の取組（福賀中学校）

かつての福賀地域は自治会ごとに得意の神楽の演目を持ち、神社の祭礼や農作業の節目ごとに数少ない地域の娯楽として演じてきました。中学校では、金社神楽保存会の協力を得ながら、昭和40年代からはクラブ活動として、現在は総合的な学習の時間の一環として位置付け、活動を続けてきました。生徒数の減少から、演目は古事記にそのルーツを見いだす「大蛇」と、五穀豊穡の神に豊作を祈願・感謝する「四神」に絞り、地域の歴史や文化の理解を深める役割も果たしています。



福賀ふるさと夢太鼓の取組



福賀地区秋季大運動会



伝統芸能継承の取組

## 今後の取組

福賀地域は、急速に進行する少子・高齢化、過疎化に対して、地域住民同士のつながりを強くすることで活性化を図ってきました。今回、紹介した保小中育友会連絡協議会を中心とした福賀中学校区の地域協育ネットは、既に地域に確立されているネットワークを活用した共生型の取組と言えるかも知れません。

今後は、このネットワークに参加する一人ひとりの方々との関係を深め、支援を受けるだけでなく積極的に地域に貢献していく教育活動を模索していきたいと思います。

## コーディネーターさんにインタビュー

Q：関係団体の連携を活性化するコツは何ですか？

A：常日頃から、それぞれの団体の活動に参加して協力することです。

Q：コーディネーターをしていてうれしいことは何ですか？

A：活動の後に、子どもたちや地域の方々の満足そうな表情を見ることです。